

**記載例**

共同申請の場合、連名で記載。  
幹事事業者を最上段に記載。

会社 (実施場所) 佐賀県鳥栖市〇〇〇 〇-〇

(事業者) MLI倉庫株式会社 (実施場所) 佐賀

事業所の名称ではなく、  
住所を記入。

事業名	パートナーシップによって「電子部品(ICチップ)」の輸送拠点を集約する事業		
事業の目的及び概要	従来は「MLI倉庫(株)鳥栖倉庫」と「MLI倉庫(株)久留米倉庫」に分散していた「電子部品(ICチップ)」の輸送拠点を「MLI倉庫(株)新鳥栖倉庫」に集約することにより、環境負荷の低減を行う。本事業のポイントは「輸送拠点を集約化することで、輸送距離削減による環境負荷低減を図ると共に、流通加工設備の充実による輸送品質の向上が可能になること」である		
事業期間	平成21年 月 日～平成22年1月29日		
導入設備/技術概要	バッテリー式2tフォークリフト 5台 MLI倉庫(株)…バッテリー式2tフ		
政策的意義	( 該当箇所にチェック 複数選択可 ) <input checked="" type="checkbox"/> 前年度までにソフト支援事業・モデル事業・普及事業にて推進決定された事業に関連する(を参考にした)事業である。 *事業名: □□△△の省エネ事業 (平成18年度 普及事業) <input type="checkbox"/> 「流通業務の効率化・総合化に関する法律」(物流効率化法)の(認定を受けた・受ける予定)の事業と関連した事業である。 *認定を受けた・受ける予定)事業者名「 MET倉庫(株) 」 <input type="checkbox"/> 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(省エネ法)に規定された計画書に記載されている事業である。 *計画書に記載している事業者名「 」 <input type="checkbox"/> 「地球温暖化対策の推進に関する法律」及び京都議定書目標達成計画によって求められている自主行動計画に記載されている(記載に深く関係する)事業である。 *自主行動計画の策定団体名 「 」 <input type="checkbox"/> その他		
普及性	( 該当箇所にチェック 複数選択可 ) <input type="checkbox"/> 今後、自社(事業者名)の他路線(輸送区間)で同様の事業を行う予定。 <input type="checkbox"/> 今後、自社(事業者名)の他品目(セメント)で同様の事業を行う予定。 <input type="checkbox"/> 本事業は同業他社においても活用可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 本事業は他業界においても活用可能である。 <input type="checkbox"/> その他		
省エネ効果(原油換算)	事業前	事業後	別紙4より 自動転記
	エネルギー使用量 166.5kl	124.9kl	
	輸送量(トンキロ) 4,224,000,000.0	2,168,000,000.0	
	エネルギー原単位 0.00771	0.00578	
	省エネルギー率 25.0%	省エネ量 41.63kl	
費用対効果	省エネ量(kl)/補助対象経費(億円) = 5.9(kl/億円)		
事業費	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助金申請額(円)
	設計費		
	設備費 672,000,000	112,000,000	37,333,000
	工事費		
	諸経費		
	消費税 33,600,000		
	計 705,600,000	112,000,000	37,333,000

事業者ごとに導入設備を  
記入する。

別紙4より  
自動転記

別紙2より  
自動転記

※1枚にまとめること。

別紙2

所要資金計画(事業全体)

費目	金額(円)	積算内容(円)				
		使用目的	仕様	個数	金額(個別)	購入者
I. 設計費	(補助対象)	<input type="checkbox"/> その他	該当する使用目的にチェックを入れてください。該当するものが無い場合は「その他」にチェックを入れて下記に内容を記載してください。			
	(補助対象外)					
小計						
II. 設備費	(補助対象)	<input type="checkbox"/> トラック <input type="checkbox"/> トレーラヘッド <input type="checkbox"/> シャーシ <input checked="" type="checkbox"/> フォークリフト <input type="checkbox"/> 通い箱 <input type="checkbox"/> 搬送機 <input type="checkbox"/> その他	共同申請の場合、ある経費に複数の事業者が係わるときは、事業者ごとに分けて記載。			
	112,000,000					
			バッテリー式2tフォーク	5台	112,000,000	MLI倉庫(株)
	(補助対象外)	倉庫設備全般			560,000,000	MET(株)
小計						
III. 工事費	(補助対象)	<input type="checkbox"/> その他	補助対象外の設備等でも、今回の申請に関連する経費は記載するよう努めてください。補助対象としなかった理由があれば、( )内に記載してください。			
	(補助対象外)					
小計						
補助対象 計	112,000,000					
補助対象外 計	560,000,000					
消費税	33,600,000					
合計	705,600,000					

※上記費用は当該補助事業と類似の事業において同程度の規模、性能を有すると認められるものの標準価格等を参考として算定し、その算定根拠を添付すること。

※上記費用は請負業者の一般管理費及び利益を含んだものとする。

別紙3

事業者ごとに作成

資金調達計画(MLI運輸株式会社)

(単位:円)

調達先	調達金額	備考
補助金	37,333,000	
自己資金	74,667,000	
借入金		
合計	112,000,000	

消費税を含む補助事業に  
要する経費全額について  
記入する。

別紙4

		単位	事業前	事業後
輸送物量		トン	a 10,000	a' 10,000
輸送距離		キロ		
輸送量		トンキロ	924,000,000	2,168,000,000
エネルギー消費実績	ガソリン	kl/年		
	軽油	kl/年	169.0	126.0
	電力消費量	kWh/年		
CO2排出量		t-CO2	b 442.6	c 331.9
原油換算量		kl	d 166.5	e
原油換算原単位		kl/トン	f 0.00771	g 0.00578

輸送モードで使用する全てのエネルギーについて記載する。

導入後の輸送物量は、原則として導入前と同一とする。

事業前の輸送物量は1年間の実績値とする。

複数のルートがある場合は、記載不要

$$g = e/a'$$

(注) 導入後の原油換算量は、補助事業に係わるエネルギー消費量の差異のみを織り込む。  
輸送物量は原則として事業前後で同一とする。  
エネルギー名・単位・原油換算値は適宜修正すること。

【省エネ効果】

CO2削減量	t-CO2	h	110.64
省エネルギー率	%	i	25.00%
省エネルギー量	kl	j	41.63

b-c

(f-g)/f

a × (f-g)

上記より自動計算

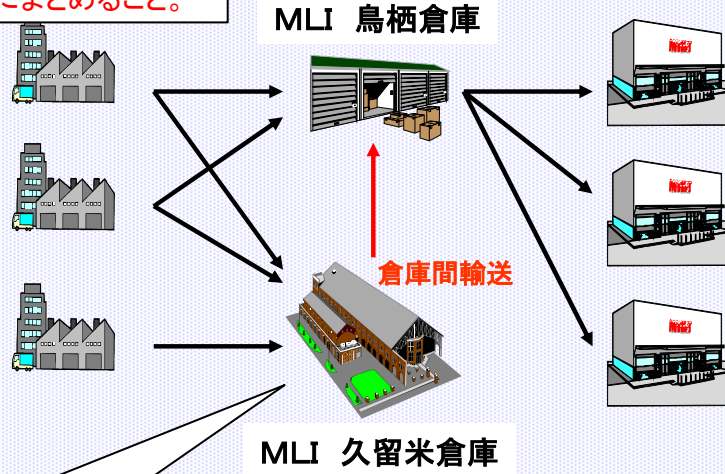
別図1

導入前後の比較図

導入前

事業前後の違いを地図等を活用し  
わかりやすく記入する。  
A4縦使いで1枚にまとめること。

煩雑な輸送体系



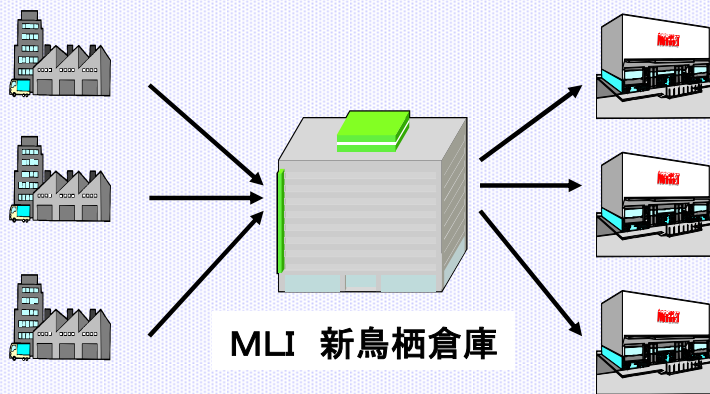
輸送モード、輸送量等を導入前、  
導入後と明確に比較できるよう  
工夫すること。

MLI倉庫が倉庫での保管と倉庫間輸送を担当

流通加工設備が鳥栖倉庫にあるため、久留米倉庫から日々、輸送を行っていたほか、生産工場からの輸送も煩雑であった。

導入後

倉庫の集約による効率的な輸送



MLI倉庫が倉庫での保管を担当

流通加工設備を備えた大型倉庫を新設。倉庫間輸送が無くなり、生産工場からの輸送も効率的に。